

## 第8回全日本社会人バスケットボール選手権大会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	第8回 全日本社会人バスケットボール選手権大会				
●日程	令和8年2月21日 (土) ~		令和8年2月23日 (月)		
●会場	京都市体育館、島津アリーナ京都				
●講師	久保 祐紀(JSB)、尾形 美樹(JSB)、宇田津 浩史(JSB) 伊藤 睦哲(本部)、古畑 咲(本部)、唐川 幸(本部)、西 和馬(本部)				
●スケジュール	令和8年2月21日 (土) 各自割当に合わせて集合 担当ゲーム 担当ゲーム終了後解散				
●担当試合	令和8年2月21日 (土) 15:15 ~				
	対戦カード	大西クラブ(四国3位/愛媛県)		VS	IZURASHI(東海1位/静岡県)
	主審(CC)	小川裕之(秋田)	副審(U1)	平出圭佑(大阪)	(U2) 杉山栄規(京都)
	審判主任	野田宏樹(熊本)			
	講評	A級チャレンジをしているとのことで積極的にチャレンジしている姿勢がすごく伝わってきた。1QからCCがテンポセットしていったものをクルーで共有して同じ基準でゲームを進めることができていると思う。トラベリングのテンポセットがよかった。全てを吹けということではないが、明らかなもの、そのステップはダメだよというメッセージを示せていたと思う。ショットが入った後に相手チームがボールを取ろうとしたところをボールをキャッチして審判に返した場面でDOGのワーニングを入れて欲しかった。判定するだけではなくて、そういうゲーム運営の部分でももっと出て行って欲しい。所々で笛を入れて欲しいケースがあったので振り返ってみてほしい。			
自己の感想	1ゲームを通してポジションアジャストを意識してトライしていたが、アジャストすることが目的になってレフリーディフェンスが薄くなり判定に繋がらなかったケースがあった。なんのためのポジションアジャストなのか。判定する、レフリーディフェンスするためにポジションアジャストするのであって、目的を見失わないようにしなければならないと感じた。DOGなどもっとゲーム中にいろんなところに気を配ってレフリーできるようトライしていきます。				

●スケジュール	令和8年2月22日 (日)				
	各自割当に合わせて会場入り 担当ゲーム 担当ゲーム終了後解散				
●担当試合	令和8年2月22日 (日) 11:45 ~				
	対戦カード	S☆MAGIC(北信越3位/長野県)		VS	POMPOM(近畿2位/京都府)
	主審(CC)	秋葉智(茨城)	副審(U1)	平出圭佑(大阪)	(U2) 佐藤淳(佐賀)
	審判主任	真下香子(兵庫)			
	講評	1Qに自分のPrimaryでコールすべきケースがほとんどなかったがブれることなく、Primaryで事が起こった時に的確に判定できていたことが良かった。両チームに対してメッセージを含めた効果的な笛が多くて良かった。その一方でPOCが違っているケースがいくつかあったので振り返ってみてほしい。ベンチからの異論表現に対してベンチTFをコールしていたが、コミュニケーションで解決できる方法がなかったかを考えてみてほしい。			
自己の感想	昨日の振り返りをもとにレフリーディフェンスをするためにポジションを工夫することに改めてトライした。しっかりと判定に繋げることができた場面が多かった。POCについては指摘していただいたようにこだわっていきたい。そこが判定の裏付けや選手とのコミュニケーションに繋がっていくと思うので積極的にトライしていきます。選手やベンチとどのようなコミュニケーションをとっていくのか、TFをコールするにしてもストップサインを出して、それでも言ってくる場合にコールするとか、見せ方・やり方の工夫が必要だなと感じました。 全日本社会人大会で全国の審判員の皆様と交流、ご一緒させていただきたくさんの学びがありました。参加させていただきありがとうございました。				